

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 26-008

PDCA	事務事業名	老朽化建築物取壊促進・空き家対策事業	部課等名	建設部 建築課 建築指導担当	担当	青木・中村	
					内線等	462	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 2. 住宅・住環境整備 単位施策： (1) 市民の安全確保と市街地における地震災害の減災 個別施策： ②老朽化建築物・空き家の適正管理の促進					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	大地震時に倒壊し、二次災害を引き起こす可能性の高い老朽化建築物・ブロック塀や周囲に影響を与えている空き家を取壊すことにより減災、環境の保全を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	現地調査等により老朽化建築物・空き家やブロック塀を把握し、所有者等に補助制度の周知を図り、取壊しを促す。 著しく管理不全な空き家は空家法に基づく特定空家等へ認定し、法的措置を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①取壊し等補助件数	18	158	209	件	
		事業費	3,064	23,024	34,420		
		人件費	2,881	9,439	11,249		
		総事業費	5,945	31,838	45,669		
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①1件当たりの補助額	170	145	165	千円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①老朽化建築物取壊補助件数	実績値	14	18	48	件
			目標値	6	10	10	
②ブロック塀等撤去補助件数		実績値	4	140	161	件	
		目標値	3	3	150		
	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	A 空き家を含めた老朽化建物、ブロック塀については、現地確認や個別訪問により直接所有者等に補助制度のPRや補助の利用を促すなどし、前年より件数を伸ばせたことで、安全性に不安のある建物・ブロック塀を減少できた。空き家対策については、管理不全で危険な状態にある5件を特定空家等に認定し、解体等の改善を行うよう指導したところ、2件について解体実施により危険な状態が解消できた。策定した「半田市空家等対策計画」に基づき、空き家対策は管理不全なものへの対応だけでなく、空き家の利活用の取り組みを進めていく必要がある。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 老朽化建築物取壊促進は、把握している安全性に不安のある建物・ブロック塀の所有者に対し補助制度を直接案内するなど補助制度の周知を継続実施し、取壊・撤去による減災の推進を図る。空き家対策については、管理不全な空き家への法的措置による取壊等による解消を継続して進めるとともに、空き家バンクの活用や個別の活用提案を行うことなどで、空き家の利活用を促進していく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①老朽化建築物取壊補助件数	35	件			
	②ブロック塀等撤去補助件数	10	件				